

平成25年度事業報告に関する件
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

全 体 概 要

I 概 要

平成24年度から当ビューローは組織体制を大きく拡充させ、一層の事業進捗を図ってきたが、更に平成25年度からは、新たに年間を通した運営指針となる「基本方針」と「重点施策」を策定し、より効果的に、そして対外的にも分かり易く取り組んでいくこととした。

具体的には、プレゼンスアップ、MICE戦略、インバウンド・プロジェクト、古典の日の取組など、6つの重点施策を策定し、積極的に事業を推進してきたところである。

一方、平成25年度の社会経済状況を見ると、第2次安倍政権の下、金融市場と景況感の上昇などに先行して効果が表れた後、実体経済も徐々に回復傾向に進みつつあり、景気の影響を受けやすい観光面には好影響が出始めている。

こうした中、平成25年1年間に我が国を訪れた外国人観光客数は過去最高となったところであり、当ビューローの独自調査においても、同様に京都に宿泊した外国人観光客数は、大幅に増加している。

この観光面の好調さと平成24年度から取り組んでいるプレゼンスアップの取組とがあいまって、各種メディアに当ビューローの取組が昨年にも増して、頻繁に紹介され、当法人の社会的知名度は相当程度上昇してきたと考えている。

特にインバウンドの分野では、新たにムスリム対策に積極的に取り組み、全国的にも特筆した取組となった。

また、平成25年の国際会議の年間開催件数は対前年でやや減少したが、国際機関の統計では、我が国で引き続き東京に次いで第2位をキープしており、将来の誘致状況においても、2017年開催の世界神経学会などの大型会議の誘致に成功してきている。

そして、ビューローの一方の大きな柱である文化の分野では、11月1日に古典の日フォーラムを開催し、大阪では国立文楽劇場でフォーラムin関西、そして東京でも京都創生フォーラムと共同で古典再発見と題して講座を開催するなど、全国展開を図ったところである。

加えて、2015年が琳派発祥から400年という記念の年を迎えることから、オール京都で記念祭に取り組むこととなり、当ビューローもその準備、連絡調

整に取り組んできたところである。

以下は平成25年度の重点施策別の取組状況である。

Ⅱ 6つの重点施策の推進

1 プレゼンスアップの推進

当ビューローの社会的な認知度を高めていくため、平成24年度から取組を進めてきたところである。平成25年度は平成24年度と比べて、掲載頻度で約1.5倍程度、更に多くのメディアに取り上げていただくことができた。

これは、事業内容も、例えばムスリム対策に取り組むなど、適時適切な業務推進に努めたことと、職員全員がプレゼンスアップという意識を持って取り組んだ成果であると考えている。

引き続き、本取組を継続し、当ビューローの業務全般の引き上げにつなげていきたい。

2 インバウンド・プロジェクトの推進

平成25年度から新たに、世界の人口の4分の1を占めるムスリム対応に取り組む、関連の事業者への研修会の開催、ローカルハラル認定やウェブサイトの開設などを行った。

また、海外の旅行エージェント等への視察支援に精力的に努めた結果、特に海外メディアには69媒体に対応し、広告費換算で3億3千万円の効果があったと見込んでいる。

こうした中、平成25年の京都の主要なホテルの年間延べ宿泊者数が過去最高となり、これは景気の回復に加えて、外国人観光客の大幅な増加がその好調さの大きな要因となったと考えている。

平成26年度は、ビューロー独自でよりタイムリーにかつ国別の統計を発表できるよう取り組んでいきたい。

3 MICE戦略の推進

平成25年の国際会議の年間開催件数は177件となり、対前年から19件の減少となったが、これは性格上、国際会議が周年開催であること、また大型会議施設の大規模改修工事が重なったことなどが考えられるが、ここ5年間で見ても一昨年に次いで開催件数は多く、国際統計でも東京に次いで第2位を維持している。

また、今後の大規模会議の誘致状況は、2003年の水フォーラム以来となる海外参加者4千人を見込む世界神経学会議を、国立京都国際会館と強力に誘致活動を進めた結果、2017年京都開催を勝ち取り、また文化面への波及効果も大きい2019年開催予定の国際博物館会議の日本での立候補地に選定されるなど、例年以上に大型会議の誘致は進んでいる。

4 けいはんな学研都市との連携強化の推進

優れた各種研究機関が集積する関西文化学術研究都市を中心に開催されたKYOTOスマートシティエキスポに、当ビューローとして京都ならではのおもてなしとして、伝統芸能の派遣支援を行った。

新たなコンベンションの柱として、引き続き開催支援を行っていきたい。

5 京都迎賓館支援の推進

これまで首都圏で行ってきた京都迎賓館記念シンポジウムを、初めて中部圏の名古屋市で開催した。夏の一般参観において、中部圏からの参加者が増えるなど、一定の効果があったと考えており、今後もこうした取り組みを通じて、より広範な国民に、日本の伝統文化の粋を極めた京都迎賓館の周知を目指していきたい。

6 古典の日の取組の推進

古典の日の法制化を受け、平成25年度は法律に沿って、引き続き古典に親しむ活動を全国に向けて展開した。古典の日フォーラム2013や、本年2月には大阪市の国立文楽劇場で法制化記念のフォーラムを開催し、4千名近い皆様から応募を受けるなど大変好評を博したところである。

引き続き、古典の日の理念の実現に向けた活動を推進していきたい。

また、琳派400年記念祭の成功に向けて、オール京都として推進していくため、その連絡調整、広報及びオープニング事業等について、現在、鋭意取組を進めている。

部 門 別 概 要

I 文化交流発信事業（公益目的事業）

1 古典の日推進事業

(1) 「古典の日」普及・定着のための事業

① 古典の日制定記念 古典の日フォーラム2013

日 時：平成25年11月1日(金) 13:30～16:30

場 所：京都コンサートホール 大ホール（京都市左京区）

参加者：1,544名

主 催：古典の日推進委員会

共 催：NHK 京都放送局

協 賛：西日本電信電話株式会社、大阪ガス株式会社、アサヒビール株式会社

協 力：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

内容等：

○「古典の日」宣言／浅野温子（女優）

○挨拶／古典の日推進よびかけ人：瀬戸内寂聴（作家）

主 催 者：村田純一（古典の日推進委員会会長）

来 賓：青柳正規（文化庁長官）

○クラシック演奏／玉井菜採、三橋桜子

○よみ語り「大国主神 義父が与えた最後の試練」／浅野温子（女優）

○講演「私の中の古典文学」／浅田次郎（作家）

② 平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ 関西元気文化圏推進フォーラム「文化芸術の再発見」II

古典の日制定記念 古典の日フォーラム in 関西 ～庶民の中に生きる古典～

日 時：平成26年2月1日（土）13:00～16:00

場 所：国立文楽劇場（大阪府中央区日本橋）

参加者：736名参加 ※応募総数2,327通 3,983名

主 催：古典の日推進委員会、関西広域連合、関西元気文化圏推進協議会

協 賛：西日本電信電話株式会社、大阪ガス株式会社、アサヒビール株式会社

協 力：文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室、独立行政法人日本芸術文化振興会（国立文楽劇場）、大阪府、大阪市

後 援：NHK 大阪放送局、読売新聞社、歴史街道推進協議会

内容等：

○主催者挨拶／村田純一（古典の日推進委員会会長）

- ナビゲーション／天野文雄（文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室長、大阪大学名誉教授）
- 講演「後白河院と『梁塵秘抄』（今様集）」／臈谷壽（同志社女子大学名誉教授）
- 今様合上演／日本今様謡舞楽会
- 講演「うた」は空を飛んでいるか／山折哲雄（宗教学者）
- 解説「近世庶民の娯楽・人形浄瑠璃—その広がり」
／後藤静夫（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター所長）
- 人形浄瑠璃文楽上演「伽羅先代萩御殿の段」より政岡のクドキ
／豊竹嶋大夫、豊澤富助、吉田和生、他
- まとめ／天野文雄

③第5回古典の日朗読コンテスト

1) 作品募集

- (1) 課題作品：「夢十夜」、「たけくらべ」、「なめとこ山の熊」、「山椒大夫」
- (2) 応募総数：527 作品（一般部門 334 作品、中学・高校生部門 193 作品）
- (3) 審査委員：特別顧問／芳賀 徹 審査委員長／新井 満（作家・作詞作曲家）
委 員／菊川徳之助、高橋清之、端田宏三、宮田圭子、三好 仁
- (4) 表 彰：フォーラム「古典の世界を読む 2013」にて最終審査及び表彰式

2) フォーラム「古典の世界を読む 2013」

—第5回古典の日朗読コンテスト公開最終審査会と表彰式—

日 時：平成25年11月16日（土）13：00～16：00

場 所：金剛能楽堂（京都市上京区）

参加者：330名 ※応募総数519通833名

主 催：古典の日推進委員会

共 催：京都府高等学校芸術文化連盟

後 援：京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都新聞社

特別協力：公益財団法人金剛能楽堂財団

内容等：

○主催者挨拶／村田純一（古典の日推進委員会会長）

○最終審査会出場者の朗読

【部 門】一般部門／9名、中学・高校生部門／6名

○講演「福沢諭吉『学問のすゝめ』を読む」／芳賀 徹（特別顧問）

○審査発表・表彰式

■大 賞／古典の日推進委員会会長賞 … 各部門より1作品

■特別賞／京都府知事賞、京都市長賞、宇治市長賞、京都商工会議所会頭賞
… 両部門より各賞1作品

京都府高等学校芸術文化連盟会長賞 … 中学・高校生部門より
1作品

○審査講評・朗読と歌唱／新井 満（審査委員長）

④街かど古典カフェ

1) 古典の日制定記念「街かど古典カフェ」特別講座Ⅰ

観阿弥生誕六百八十年 世阿弥生誕六百五十年記念 ～観世宗家展観賞と講演の会～

日 時：平成25年5月19日(日) 13:00～15:00

場 所：承天閣美術館（相国寺山内）（京都市上京区）

参加者：107名 ※応募総数197名

主 催：古典の日推進委員会

特別協力：承天閣美術館、文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室

講 師：天野文雄（文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室長、大阪大学名誉教授）

内容等：

○観世宗家展ギャラリーツアー

○講演「世阿弥の生涯とその業績」

2) 古典の日制定記念「街かど古典カフェ」特別講座Ⅱ

「伝統文化の若き獅子たち」～茶・華・香～

日 時：平成25年7月12日(金) 13:00～15:30

場 所：松殿山荘（宇治市木幡）

参加者：59名 ※応募総数297名

主 催：古典の日推進委員会

共 催：財団法人松殿山荘茶道会

内容等：

○お煎茶席体験／小川可樂（小川流煎茶家元嗣）、笹岡隆甫（華道「未生流 笹岡」家元）、蜂谷宗苾（志野流華道若宗匠）

○松殿山荘の解説と見学／桐浴邦夫（建築史家・京都建設専門学校教員）

○パネルディスカッション／パネラー：小川可樂、笹岡隆甫、蜂谷宗苾

聞き手：濱崎加奈子（有斐斎弘道館館長）

⑤明日の京都・街かど古典カフェスペシャル

無形文化遺産シンポジウム「太秦～シネマの都は復活するか～」

日 時：平成26年3月8日(土) 13:30～16:00

場 所：立命館大学 朱雀キャンパスホール（京都市中京区）

定 員：430名 ※応募総数556名

主 催：古典の日推進委員会、明日の京都 文化遺産プラットフォーム

後 援：京都府、京都市、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

NHK 京都放送局、京都新聞社、(公財)大学コンソーシアム京都

内容等：

- 基調講演「時代劇と私」／榎木孝明（俳優）
- パネルトーク「太秦～シネマの都は復活するか～」
／パネリスト：榎木孝明（俳優）、中島貞夫（映画監督）、
高津博行（高津商会代表取締役社長）、山下晃正（京都府副知事）
- コーディネーター：冨田美香

⑥京あるき in 東京 2014 京都創生連続講座 in 東京「古典再発見!!」

日 時：平成 26 年 2 月 7 日(金) 13:30～16:30

場 所：野村コンファレンスプラザ日本橋 6 階 大ホール(東京都中央区日本橋)

参加者：300 名 ※応募総数 578 通 942 名

主 催：古典の日推進委員会、京都創生推進フォーラム、京都市

後 援：京都創生百人委員会

協 力：野村コンファレンスプラザ日本橋（東京都中央区）

内容等：

- 趣旨説明「国家戦略としての京都創生・『古典の日』の取組について」
- 女房語り「京ことばで語る源氏物語 ～野宮の別れ・「葵」「賢木」～」／山下智子（女優）
- 講演「方丈記から発心集へ」／浅見和彦（成蹊大学名誉教授）

⑦語り部派遣事業

1) 京都府山城教育局

日 時：平成 25 年 11 月 17 日(日) 13:30～16:00

場 所：久御山町中央公民館（久世郡久御山町島田）

参加者：430 名

内容等：

- 本の帯コンテスト表彰式
 - 「読もう！語ろう！伝え合おう！」朗読・暗誦発表会
／児童・生徒による朗読・暗唱・古典の語り等の発表
 - 古典の広場／古典文学の朗読観賞「よだかの星」（宮沢賢治）
- 語り部：朗読劇団あめんぼ座

2) 京都府丹後教育局

日 時：平成 25 年 12 月 7 日(土) 12:30～16:30

場 所：アグリセンター大宮（京丹後市大宮町）

参加者：320 名

内容等：

- オープニング／峰山高校吹奏楽部演奏

- 表彰式／「ここが大好き ふるさと丹後」作文・提言・エッセイの表彰
- 公演「源氏物語の夢世界 ～絵巻『桐壺』を語る～」
 - 語り部：古典に係る語り／六嶋由美子、奈須秀子
 - 横笛（能管）の演奏／野中久美子
 - 源氏物語絵巻の朗読／六嶋由美子、野中久美子
- 古典作品暗唱・朗読発表会

⑧共催、後援、ロゴ・シンボルマークの使用許可申請数(平成 26 年 2 月 25 日現在)

- ◆後援：32 件
- ◆共催：2 件
- ◆ロゴ・シンボルマーク：46 件

⑨「古典の日」普及・推進活動及び広報活動等

1) 「古典の日」推進全国会議及び古典の日推進支援人

平成 25 年 3 月 29 日現在、93名。

2) ホームページ・携帯サイト

今年度のアクセス数は、平成 26 年 2 月 25 日現在、82,995 件（PC サイト 74,645 件、携帯サイト 8,350 件）。

3) 「古典の日」ポスター：約 70 カ所に随時掲出

4) バッグ型クリアファイル、シャープペンシル配布

5) 媒体広告

- (1) 京ごよみ（10 月号）
- (2) デジタルサイネージ（京都駅）
- (3) 日本経済新聞（11 月 1 日(金)朝刊）
- (4) 京都新聞「一日版」（11 月 1 日(金)朝刊）
- (5) 国立文楽劇場友の会会報誌（10 月号）

6) 懸垂幕と横断幕の掲出

7) 関係機関広報ツール

- (1) 府民だより
- (2) 京都市民しんぶん
- (3) 宇治市政だより
- (4) 文化庁関西元気文化圏ホームページ（文化カプロジェクトサイト）
- (5) 「京都文化祭典 2013」パンフレット（8 月～配布開始）

2 京都迎賓館支援事業

(1) 京都迎賓館でもてなした外国賓客

計 5 件

- | | |
|-------------------|---------------|
| ① カナダ下院議長夫妻一行 | 平成25年5月13～15日 |
| ② ウガンダ共和国国民議会議長一行 | 10月26日～27日 |
| ③ ハンガリー首相夫妻一行 | 11月22日～23日 |
| ④ カンボジア共和国大統領夫妻一行 | 12月16日～17日 |
| ⑤ スペイン下院議長 | 平成26年2月6日～8日 |

<過去の接遇件数>

年 度	18	19	20	21	22	23	24
接遇件数	8	11	15	9	10	10	12

(2) もてなし・しつらいプロデュース事業

京都迎賓館における賓客接遇等の際、しつらいの一つとして活用するいけばな文化の継承・発展のためいけばな協会への支援を行った。

また、迎賓館に賓客接遇に際して美術品しつらいデータベースを活用した。

(3) 京都迎賓館写真パネル展

ア 開催日：平成25年6月11日（火）～30日（日）

イ 会 場：京都駅ビル2階南北自由通路 駅ビルインフォメーション前イベントスペース

ウ 概 要：京都迎賓館の各施設（桐の間、藤の間等）とそのしつらえ（建築技能や工芸品など）の写真とともに、施設名の由来や調度品等の情報をパネルにして紹介。

(4) 京都迎賓館参観支援事業

ア 期 間：平成25年8月27日（月）～ 9月5日（木）

イ 参観者：11,481名 ※別途8月26日に地元向け特別参観実施（参加961名）

ウ 支援事業

(ア) ボランティアの紹介

京都文化振興友の会及び京都市文化ボランティアから、京都迎賓館一般参観運営スタッフとしてボランティアを募集し、86名を派遣した。

(イ) 生け花のしつらい

場所：正面玄関、聚樂の間、藤の間前 提供：京都いけばな協会

(ウ) リーフレットの提供

京都迎賓館の伝統技能を紹介したリーフレットを13,500部作成・提供

(工) 宇治茶の提供 (有料) 提供：京都府茶協同組合

(5) 京都迎賓館視察研修の実施

ア 開催日：平成26年2月25日(火)、27日(木)、28日(金)、3月3日(月)

イ 会場：①講演の部 国立京都国際会館 ②視察の部 京都迎賓館

ウ 参観者 京都府内の大学で芸術を学ぶ学生・若手の技能技術後継者など

エ 概要

①講演会 (2月25日)

・関係映像視聴 「京都迎賓館に生きる伝統技能」(DVD)

・基調講演 テーマ「京都迎賓館について」

講師：中村昌生(京都工芸繊維大学名誉教授)

②視察研修 (2月27、28日、3月3日)

京都迎賓館を1グループ25名程度、1日4グループ視察

視察時間は約1時間15分

オ 実績

・申込者 220名

・講演会参加者 188名

・視察研修参加者 184名

(6) 京都迎賓館記念シンポジウムの開催

ア 開催日：平成25年6月8日(土)

イ 会場：(名古屋) ヒルトン名古屋

ウ 参加者：360名

エ 概要

◇文化披露

芸舞妓による舞踊披露(祇園甲部歌舞会)

◇基調講演

テーマ 「京都迎賓館にみる現代和風の極み」

講師 中村昌生(京都工芸繊維大学名誉教授)

◇パネルディスカッション

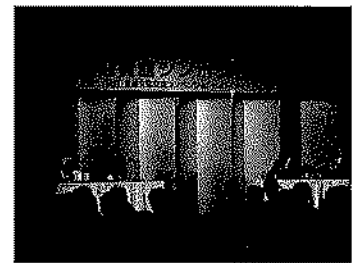
テーマ 「京都に見るおもてなしの技と心」

パネリスト 佐野藤右衛門 (桜守・植藤造園16代目)

中野恭心 (京都いけばな協会会長)

高橋拓児 (京料理「木乃婦」若主人)

コーディネーター 中村昌生 (京都工芸繊維大学 名誉教授)



3 京都創生推進フォーラム事業

(1) 運営委員会・連絡会の開催

① 第11回運営委員会

- ア 日 時：平成25年4月26日（金）午前10時30分～12時
イ 場 所：京都商工会議所 役員室
ウ 議 事：平成24年度の活動について（報告）
平成25年度の活動について（提案）
各運営団体の京都創生に関する取組について（情報交換）

② 第13回連絡会

- ア 日 時：平成25年7月25日（木）午前10時30分～11時30分
イ 場 所：京都商工会議所 3F 第2会議室
ウ 議 事：8月2日シンポジウムの運営について

(2) シンポジウムの開催

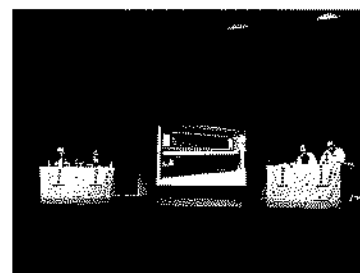
ア 日 時：平成25年8月2日（水） 午後1時30分～4時

イ 会 場：宮川町歌舞練場

ウ 参加者：460人

エ プログラム

- ・文化披露 舞披露 宮川町歌舞会
- ・挨拶：立石義雄（京都創生推進フォーラム代表・京都商工会議所会頭）
門川大作（京都市長）
- ・報告：「京都創生の取組」 大瀧 洋（京都市京都創生推進部長）
- ・パネルディスカッション
「京の美と技一時を超え世界から、そして世界へ」
パネリスト 高橋拓児（京料理「木乃婦」若主人）
鳥羽美花（染色画家）
吉田孝次郎（（公財）祇園祭山鉾連合会理事長、京都生活工芸館無名舎主）
山本壮太（古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー）



(3) 京都創生連続セミナーの開催

① 第20回セミナー

- ア 日 時：平成25年11月9日（土） 午後2時 ～ 4時
イ 会 場：池坊学園こころホール
ウ 参加者：200人
エ テーマ：「日本の色 京の彩」
オ 講 師：吉岡幸雄氏（染織史家）

② 第21回セミナー

ア 日 時：平成25年12月14日（土）午後2時 ～ 4時

イ 会 場：キャンパスプラザ京都 第2講義室

ウ 参加者：250人

エ テーマ：「近衛家の名宝 千年の記憶—陽明文庫と御堂関白記—」

オ 講 師：名和 修氏（（公財）陽明文庫理事・文庫長）

(4) 京都創生PRの実施

① 京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」

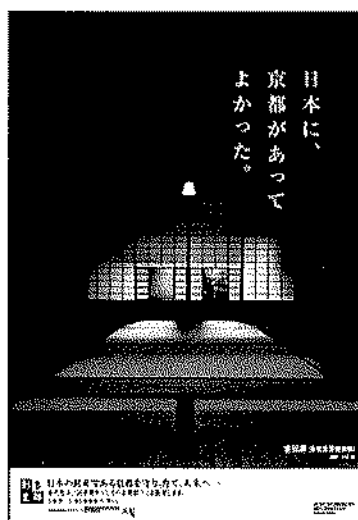
発行時期：第21弾 平成25年10月31日（金）

：第22弾 平成26年 3月19日（水）

仕 様：B1判・B2判・B3判・B3ワイド判

発行部数：4,700部

配布先：全ての市バス・地下鉄の車両、地下鉄全駅、市内のJR／私鉄駅、市内主要金融機関、市内郵便局、市関連施設、市内主要ホテル、市内の大学構内、首都圏の主要旅行代理店、京都に修学旅行を予定する全国の小中学校・高校、「京あるき in 東京」の参画企業店舗など



第21弾



第22弾

② 広報誌「京都創生」第9号・第10号

発行時期：第 9号：平成25年11月19日（金）

第10号：平成26年 3月19日（水）

仕 様：A4版4頁 スミ色

発行部数：8,500部

配布先：京都創生推進フォーラム会員・京都府及び京都市関係機関・運営団体等

(5) 「京都創生連続講座 in 東京」の実施

ア 日 時：平成26年2月7日（金）

第1部 午後1時30分～4時30分

第2部 午後6時30分～8時30分

イ 会 場：野村コンファレンスプラザ日本橋 大ホール

ウ 参加者：第1部300人 第2部180人

エ プログラム

第1部

- ・趣旨説明：「国家戦略としての京都創生」

石田 洋也（京都市京都創生推進課長）

「『古典の日』の取組について」

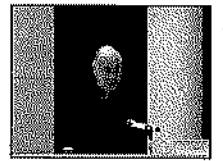
山本 壮太（古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー）

- ・（前半）朗読：「京ことばで語る源氏物語～野宮の別れ・「葵」「賢木」～」

女房語り：山下智子（朗読家）

- ・（後半）講演：「方丈記から発心集へ」

講師：浅見和彦（成蹊大学名誉教授）



第2部

- ・趣旨説明：「国家戦略としての京都創生」

石田 洋也（京都市京都創生推進課長）

- ・パネルディスカッション：「智慧の継承—京町家の再生を通して」

パネリスト：西村吉右衛門（ちおん舎 舎主）

アラード・チャールズ・ジュニア（ウイントン・キャピタル・アジア《香港》代表取締役社長）

小島富佐江（特定非営利活動法人 京町家再生研究会理事長）

（6）京都創生 PR 事業「京あるき in 東京2014～恋する京都ウィークス～」の実施

京都市・京都商工会議所・京都市観光協会とともに、第3回目となる「京あるき in 東京」を実施した。

- ① 概 要 京都ゆかりの企業・大学・団体の参画のもと、首都圏で京都の魅力を発信する催しを集中的に実施。
- ② 期 間 平成26年2月4日（金）～2月19日（土）16日間
- ③ 事業数 112（前回：90）
- ④ 参画企業、大学、団体数 196（前回：165）
- ⑤ 京都創生推進フォーラムの活動内容
 - 「京都創生連続講座 in 東京」の実施（再掲）
 - ・「国家戦略としての京都創生」のPRパネル展示
 - ・京都創生パンフレットの配布
 - ・「京あるき in 東京」との広報と連携した、JR東日本主要駅（新宿、東京、品川等）等での京都創生PRポスターの掲出等

（7）京都創生推進フォーラムホームページによる情報発信

各会員の活動情報を閲覧・掲載できるほか、新規会員の登録もホームページ上で行うことができる。

トピックスではシンポジウム、セミナーの内容を伝えるとともに、今後の開催案内などの活動情報も随時掲載。

また、一般にも京都創生推進フォーラムの活動等を広く紹介するため、広報誌やポスターなどの広報物を紹介。

※ 平成25年度年間ホームページアクセス件数 34,081件

(8) 創生フォーラム会員管理

会員数	企業・団体	個人	合計
期首	425	288	713
減少	8	9	17
増加	9	58	67
期末	426	337	763

入会は、ホームページやフォーラムへの参加を通じて行う、退会は、本人死亡や事務所閉鎖等による。

4 「東アジア共生会議2013」

東アジア各国が共生する未来に向けた理念を明らかにするため、東アジア諸国の文化人、芸術家、学識経験者、その他の文化に関係する者が一同に開始ネットワーク構築と共生へのメッセージを世界に向けて発信した、「東アジア共生会議2013」の開催に際し、京都府、京都市と共催し地元歓迎レセプションを実施した。

日時：平成25年12月6日（金） 午後7時～8時30分

場所：THE SODOH HIGASHIYAMA KYOTO

参加者：主催者・会議参加者他 50名

5 京都デジタルミュージアム「京都見聞録」の貸出

京都の文化・伝統及び自然の魅力等をハイビジョン映像で保存し、後世に継承するための「京都見聞録」(DVD)を貸し出し、京都の魅力、文化発信を広く発信した。(貸出件数：11件)

6 情報紙「四季彩京都」の発行

ア 発行回数：年2回

イ 部数：春・夏号 61,000部

秋・冬号 62,000部

ウ 内容：社寺・文化財特別公開情報、京都観光案内地図

II 国際観光コンベンション事業（公益目的事業）

1 コンベンション(MICE)事業

平成 25 年度は、世界神経学会（平成 29 年開催/7000 人規模）をはじめとした大型案件の京都への誘致の成功をおさめた一方、諸要因（周期的開催会議の非該当年や大型施設の改修工事）により、平成 25 年に京都で開催された国際会議開催件数に於いては過去最高を記録した前年をやや下回る数字となった。

また、京都市・当ビューローの調査にて、コンベンション開催による経済効果が一般観光と比較しても非常に大きなインパクトを京都にもたらすことが統計的に立証もされた。京都全域の都市格の向上と、持続可能な経済効果創出に寄与するために、MICE 事業の飛躍は重要な要素であり、そのためにも引き続き更なるマーケティングの充実やオール京都の体制強化により都市の競争優位性を高めていく必要がある。

（1）プロモーション事業

① 海外プロモーション活動

〔IMEX-America2013 出展〕

東京観光財団と共同で IMEX America (America's Worldwide Exhibition for Incentive Travel、Meetings & Events)に出展。

開催期間：平成 25 年 10 月 15 日～17 日

開催場所：米国・ラスベガス

規 模：出展者数 150カ国、2、694団体・企業

参加者数 4、543名ホステッド・バイヤー(招待客)2、691名

② 国内プロモーション活動

〔IME2013 出展〕

我が国唯一の MICE トレードショー「第 23 回国際ミーティング・エキスポ IME2013」に出展。東京(首都圏)マーケットに直接的なプロモーションを行った。

また、岡崎 MICE パンフレットを作成し、みやこめっせ・ロームシアター京都の一体利用に関する配布告知を同会場で実施した。

開催期間：平成 25 年 12 月 10 日～11 日

開催場所：東京国際フォーラム

規 模：来場者数 3、321 名 出展者数 120 団体・企業

京都ブース構成団体

京都文化交流コンベンションビューロー、国立京都国際会館

京都テルサ、みやこめっせ、京都リサーチパーク、けいはんなプラザ

東映太秦映画村、ザ・ソウドウ・ヒガシヤマ・京都、ロームシアター京都

③ 京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金の活用

[申請案件(平成25年度申請・交付分)]

会議名	参加者	開催予定年度	交付額
第23回世界神経学会議	7,000人	平成29年度	100万円

(2) 開催支援事業

① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力

[第10回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)]

平成25年10月に開催された「第10回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)」について、京都府・京都市・京都商工会議所と共同で同フォーラム支援実行委員会を組織し、開催支援を行った。

公開シンポジウム 平成25年10月5日 京都商工会議所講堂

歓迎レセプション 平成25年10月7日 大覚寺

京都エクスカージョン 平成25年10月7～8日 2コース計 38名参加

② スマートシティエキスポ2014への運営協力

平成26年3月下旬にけいはんな地区・京都国際会館で開催されるスマートシティエキスポ2014の開催に際して、準備委員会や運営協議会、事業者選定会議など積極的に京都府担当課と連携を行い開催後方支援を行った。また今後も積極的に運営協力を執り行う予定。

③ 京都市大規模国際コンベンション開催支援助成金の活用

[申請案件(平成25年度申請(認定)分)]

会議名	参加者	開催予定年度	認定額 (万円)
第9回環太平洋先端材料と7 th 国際会議	1,300人	平成28年度	300
第26回国際原子力機関核融合I期 ¹ -会議	1,000人	平成28年度	250
第15回国際材料研究学会連合-先進材料国際会議	2,000人	平成29年度	250

④ 京都市 MICE 開催支援事業「文化プログラム派遣制度」の活用

利用件数：29件（うち伝統産業2件） 支援金額：5,621,409円

さらなるPRに努めると共に、利用の条件面でのインセンティブを検討したい。

⑤ オフサイト・レセプション等の企画・提案

開催地ならではのユニークな施設・会場(オフサイト・レセプション)の企画・提案を積極的に行った。またインバウンド課の事業と連携し、共同でユニークベニュー開発に取り組むことによって新たな施設との連携が強化された。

[オフサイト・レセプション会場(主な事例)]

- ・社寺(大覚寺、建仁寺、高台寺、東福寺、平安神宮、等)
- ・東映太秦映画村
- ・ハウスウェディング施設
- ・料亭

- ・コンサートホール ・テーマレストラン

※ユニークベニュー展開を目指す下記施設とは多くの協議を通じて運用方法・広報手法などをアドバイスを行った。

- ・京都国立博物館
- ・京都水族館
- ・二条城

⑥ 各種開催支援サービス制度の運用及び拡充

(ア) 京都コンベンション・パス(地下鉄・市バス特別乗車券)の発行

利用件数：1件 発行金額：3,135,000円

(イ) 京都コンベンション・フォトバンクの活用

利用件数：29件

(ロ) 公開シンポジウム等広報支援制度

利用件数：1件 2013年京都国際地理学会議 市民公開講座

(ハ) 京都コンベンション・ウェブ・データ貸出制度

利用件数：2件

(ニ) 誘致プレゼンテーション用パワーポイント・データ貸出制度

利用件数：11件

(ホ) 京都開催PR用バナー貸出制度

利用件数：6件

(ヘ) プロモーションDVD・ビデオの貸出・提供

利用件数：15件

(ニ) 会議開催準備資金の無利息融資

融資件数：0件

(ケ) 各種広報印刷物等の提供

利用件数：122件

京都観光案内地図(日英併記) 提供部数：33,492部

おこしやす京の旅路(和文が1部) 提供部数：14,310部

Kyoto Tourist Guide(英文が1部) 提供部数：15,070部

京都案内リーフレット(英文1部) 提供部数：5,025部

その他 Kyoto Visitor's Guide

京都コンベンション施設ガイド(日本語版)

Kyoto Meeting Planning Guide(英語版)

京都PR用ピンバッジ・絵はがき・ポスター等

(3) 広報宣伝事業

① ホームページによる京都におけるMICE関連情報の発信

国内外のMICE主催者・参加者に対し、MICE開催都市「京都」の情報発信を行うため、ホームページの一層の充実を図った。

② 海外PRエージェンシーを活用した情報発信

海外 MICE 業界専門 PR エージェンシーを活用し、世界の MICE 専門誌及び WEB に京都の記事掲載を働きかけ、京都の魅力を世界の MICE 主催者に発信した。

掲載実績：63件

(4) MICE 関連情報の調査・収集・検討

① 情報の収集

観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンgres・コンベンション・ビューローをはじめ関係団体との積極的な交流を図り、MICE 関連情報の収集に努めた。また本年度初めての試みとして、ICCA (International Congress and Convention Association 国際会議協会) 第 52 回総会 (於：上海、11 月、参加者約 900 名) に職員を派遣し、国際的な MICE プレーヤーとのネットワーク強化と情報収集を図った。

② 「グローバル MICE 戦略都市」コンサルティングの受入

京都市・KCB 協業で選考資料を提出した結果、京都市を含む MICE 誘致の潜在能力の高い 5 都市を観光庁が戦略都市に選定。観光庁は戦略都市に対して国際的 MICE コンサルタントを派遣、京都市内 MICE 事業者とともに 2 次にわたる実地のコンサルティングを受けた。ブランド力、ローカルホストへのアクセス等、きめ細かい論点から、現在の世界基準に比べた京都の SWOT 分析を実施するとともに次年度へ向けた改善点の整理を行った。

③ 統計調査・発行

国際会議統計「2012 京都で開催された国際会議」発行

④ MICE 振興に関わる課題の克服に向けた検討

(ア) 京都市勧業館 MICE 拠点化整備指針策定業務(平成 24 年度受託事業)

京都市勧業館(みやこめっせ)を岡崎地区における MICE 拠点施設の 1 つとして位置付け、MICE 誘致を図っていくための課題、必要な機能及び設備を洗い出し、今後の拠点化に向けての整備指針を策定した。平成 25 年度も引き続き岡崎 MICE 拠点化へ向けた取組を推進した。

(イ) 京都市における MICE 実態調査

平成 22 年 3 月に策定された「京都市 MICE 戦略」を基本に、より具体化した実施方針を策定し、これからの MICE 推進施策に活用するため、市内で開催された国際会議等に係る開催地決定要因及び京都開催による効果並びに参加者の宿泊・購買等による経済効果を把握・分析したうえで、マーケティング戦略の骨子を策定した。

2 国際観光プロモーション事業

平成 25 年度、世界の観光ランキングで権威のある、トラベル&レジャーベストシティランキングにて京都市が世界 5 位にランクイン。また、同様のコンデナストトラベラーの読者ランキングでアジア 1 位に輝きました。



また、堅調に海外訪日観光客数も回復しており、京都インバウンド界に於いても大きな飛躍の年度になった。

(1) 海外情報拠点運営事業

「京都市海外情報発信・収集拠点」を効率的かつ戦略的に活用し、市場特性に応じたきめの細かい誘致施策を実施した。各拠点の主な事業は以下のとおり。

(設置箇所) アメリカ・台湾・韓国・中国・オーストラリア・フランス・イギリス・ドイツ
(委託先)

- | | |
|---------------------|--|
| (1) 京都市観光アメリカ事務所 | : MGMC マリアン・ゴールドバーグ氏 |
| (2) 京都市観光台湾事務所 | : J & T Contents 鐘芝暉氏 |
| (3) 京都市観光韓国事務所 | : Kyushuro Korea LEE KYU JIN 氏 |
| (4) 京都市観光中国事務所 | : GMO チャイナコンシェルジュ株式会社 大西 正也氏 |
| (5) 京都市観光オーストラリア事務所 | : 元クイーンズランド州観光局・栩野勝治氏 |
| (6) 京都市観光フランス事務所 | : 元 JNTO パリ事務所 滝野プロット・アンナ氏
元 JNTO パリ事務所 プロット・リオネル氏 (共同受託) |
| (7) 京都市観光イギリス事務所 | : McCluskey International シュディ・マクラスキー氏 |
| (8) 京都市観光ドイツ拠点 | : Leibmann Seminare & Coaching インゲ・ライプマン氏 |

※韓国・中国拠点については、平成 25 年度より委託先を変更

(海外情報拠点の主な業務)

- ① 現地で開催される旅行見本市等への出展及び現地旅行会社・メディアに対する京都観光 PR などの「情報発信事業」
- ② 現地の旅行動向・関心・方向性等を探る「情報収集事業」
- ③ 会員による現地セールスコール時のサポート等
- ④ 月次及び年次報告書の提出、現地市場に関する報告・勉強会等の開催

※今年度は試験的に MICE 分野での拠点活用も実施し、国際会議誘致活動のサポートを実施。

※京都市伝統産業課等とも連携し、パリにおける伝統産業 PR 事業のサポートを実施。

※会員による現地セールスコールのアレンジサポートを実施

(京都市海外情報拠点市場説明会及び相談会)

- (1) 時 期 平成 25 年 4 月 23 日 (火)
- (2) 場 所 京都ブライトンホテル
- (3) 内容等 ①海外情報拠点による市場説明会
②海外情報拠点との個別相談会
- (4) 成果等 ①市場説明会参加者 70 名 (会員 50 名、非会員 20 名)
②個別相談会参加者 51 名 (会員 41 名、非会員 10 名)

(2) プロモーション事業

海外情報拠点のアレンジをベースに、会員の協力のもと以下の招請を行った。

① 海外旅行会社・メディア招請事業

<旅行会社>

・オーストラリア

富裕層取扱旅行会社 (旅行会社 4 社 5 名 京都滞在 2014 年 2 月 24 日～28 日)

・インドネシア

旅行会社 (2 社 2 名 京都滞在 2013 年 11 月 10 日)

※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取組

・アメリカ

アルムナイ (同窓会組織) 等に特化した旅行会社・大学美術館関係者 (6 社・6 名 京都滞在 2014 年 2 月 22 日～24 日)

・シンガポール

全日本空輸・在シンガポール日本商工会議所との協働によるエージェントファーム (2 月 24 日)

<メディア>

・支援媒体数 69 媒体

(海外有カプレス関係者等招請京都委員会としての支援分及び京都市メディア支援センターとの連携分含む)

・総広告換算額 (概算) 336,966,521 円

- 有カメディアからの支援依頼が増加 (CNN、FRANCES2、各種機内誌等)
- JNTO、京都市海外情報拠点等からのメディア支援リクエストが増加
- これまで支援したメディアからの再取材支援リクエストが増加

※2012 年度 42 媒体 (海外有カプレス関係者等招請京都委員会としての支援分含む)

※総広告換算額 (概算) 245,192,194 円

(69 媒体一覧)

	取 材 日	国・地域名	媒 体 名
1	4 月 4 日～7 日	イギリス	The Times (英国を代表する高級紙)

2	4月4日~11日	シンガポール	Chubby Hubby (食と旅に関するブログ)
3	素材提供	台湾	自由時報 (一般朝刊紙)
4	5月3日~10日	台湾	AZ (旅行専門月刊誌)
5	5月6日~15日	フランス	Guide du routard (ガイドブック)
6	5月10日~20日	豪州	ABC Delicious Magazine (食と旅行に関する月刊雑誌)
7	5月14日~16日	米国	New York Post (日刊紙)
8	5月14日~16日	イタリア	latitudeslife (オンライン雑誌)
9	5月20日~23日	シンガポール	Cooperate Traveller (雑誌)
10	5月27日~30日	韓国	S SHINSEGAE STYLE (VIP向け雑誌)
11	5月28日~29日	トルコ	トルコ航空機内誌
12	5月30日	タイ	Check Tour Magazine (旅行雑誌)
13	6月2日~5日	シンガポール	Media corp. (旅番組)
14	6月5日	インドネシア	Kokoro no Tomo (TV番組)
15	6月14日~22日	フィンランド	Blue Wings (フィンエア機内誌)
16	6月14日~22日	フィンランド	Koti ja Keittiö (雑誌)
17	7月4日~10日	フランス	FRANCES2 (TV)
18	7月8日	英国	Sunday Times Travel Magazine (富裕層向け旅行専門誌)
19	7月4日~5日	香港	Weekend Weekly (週刊誌)
20	8月1日~3日	ドイツ	Gourmetreise Magazine (富裕層向け雑誌)
21	8月8日~10日	豪州	Travel Weekly (業界誌)
22	8月12日~18日	米国	Dallas Morning News (新聞)
23	8月13日~	英国	The Diver's Mask (単行本)
24	8月27日~30日	豪州	Exclusive Resorts & Day Spas (TV番組)
25	9月7日~9日	UAE(アバ)	エティハド航空機内誌
26	9月3日~9日	台湾	Bon Voyage (旅行雑誌)
27	9月13日~	英国	ALTO (富裕層向け雑誌)
28	9月13日~	英国	PrivatAir (プライベートジェット機内や富裕層向け雑誌)
29	10月2日~5日	スペイン	VIAJAR (旅行雑誌)
30	10月2日~5日	スペイン	ELLE (ライフスタイル雑誌)
31	10月2日~5日	スペイン	EL PRÓXIMO VIAJE (旅行ブログ)
32	10月2日~5日	スペイン	ABC VIAJAR (新聞)
33	10月2日~5日	スペイン	EFE (旅行関連ウェブサイト)
34	10月2日~5日	スペイン	EL PAÍS VIAJERO (新聞)
35	10月8日~11日 (ロケハン) 10月21日~24日	英国	Globe Trekker (TV番組)

36	10月15日～22日	フランス	L'art des jardins (庭専門誌)
37	10月16日～20日	米国	Roads and Kingdoms (デジタル雑誌)
38	10月24日～26日	英国	Daily Telegraph (新聞)
39	10月30日～11月2日	英国	Stylist (フリーマガジン)
40	11月1日～4日	米国	Bohemian Trails (ブログ)
41	11月3日～9日	スイス	NZZ Format (TV番組)
42	11月5日～8日	米国	Frommers' guidebook to Japan (ガイドブック)
43	11月6日～9日	米国	Adam Marelli (フリーフォトグラファー)
44	11月3日、4日(ロケハン)、11日(撮影)	韓国	私たち結婚しました” シーズン4 (TV番組)
45	11月10日	インドネシア	KOMPAS (新聞) ※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取り組み
46	11月10日	インドネシア	COLOURS ※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取り組み
47	11月10日	インドネシア	TRANS TV CELEBRITY ON VACATION (TV番組) ※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取り組み
48	11月19日～22日	米国	CNN (TV番組)
49	11月24日～12月2日	中国	旅行者TOP10 京都 (TV番組)
50	11月24日～12月1日	中国	GQ (男性向けカルチャー雑誌)
51	11月25日～28日	英国	National Geographic Traveller (雑誌)
52	11月25日～28日	英国	Daily Express (日刊紙)
53	11月25日～28日	英国	Olive Magazine (雑誌)
54	11月25日～28日	フランス	FT1 Reportage (TV番組)
55	11月30日～12月1日	英国	The Independent (新聞)
56	11月30日～12月1日	英国	Civilian Global (ウェブサイト)
57	11月30日～12月1日	英国	Quintessentially (富裕層向け雑誌)
58	12月2日～4日	シンガポール	Channel 5 Toggle Letting go (TV番組)
59	12月4日	英国	Escapism (雑誌)
60	12月16日～22日	台湾	Traveler Luxe 旅人誌 (雑誌)
61	2月3日	スウェーデン	Kanal 5 「A strong trip with Morgan and Ola-Conny」 (TV番組)
62	2月6日～9日	豪州	SBS (オンライン)
63	2月13日～14日	英国	Monocle24's food show、 The Menu (ラジオ番組)
64	2月14日、18日	香港	Weekend Weekly (週刊誌)
65	2月16日～20日	英国	Destinations of the World (富裕層向け雑誌)
66	2月24日～28日	豪州	Luxury Travel Magazine (富裕層向け旅行雑誌)
67	2月25日～28日	豪州	Vacations and Travel Magazine (旅行雑誌)
68	素材提供	英国	House & Garden (富裕層向け高級紙)

② 旅行博覧会・セミナー等出展事業

- ・台湾 JNTO インセンティブセミナー・商談会 2013年6月10日～13日
 京都からはKCBのみ参加
 現地報告：インセンティブ取扱い旅行会社へ京都滞在の魅力と支援についてPR。
- ・マレーシア JNTO 観光セミナー・商談会 2013年9月7日～11日
 京都参加事業者4社
 現地報告：観光客誘致のターゲット地域として非常に力を入れている。現状は京都での滞在時間は短い傾向。今後、ビザ免除、LCCの発展で成長を想定すると、メディア等を活用した情報提供、イメージ作りが重要。
- ・インドネシア 観光プロモーション 2013年10月11日～17日
 京都からはKCBのみ参加 ※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取組
 現地報告：日本トラベルフェアへブース参加、商談会、セールスコール。現状は中国系富裕層が訪日しているが、インドネシア系富裕層の成長にも今後に期待。
- ・イギリス WTM 2013年11月4日～7日
 京都参加事業者2社（来場者数50,000）
- ・国内（横浜） Visit Japan トラベルマート 2013年11月27～29日
 京都参加事業者4社（招待バイヤー300社、出展者350社）
- ・オーストラリア 旅館プロモーション 2014年2月8日～12日
 京都参加事業者11社
 現地報告：現地有力メディア・旅行会社を対象に、京都での旅館滞在の魅力PRと、京都旅館予約サイト「Ryokan Experience」の開設PRを実施。。
- ・ドイツ ITB 2014年3月5日～9日 京都参加事業者3社

③ ラグジュアリー層向けコンテンツの開発・発信事業

- ・ILTM 2013年12月2日～5日
 京都参加事業者4社（招待バイヤー・出展者とも1,500社）
 「京都ラウンジ」を設営し、来場バイヤー約500名のデータベースを作成
- ・ILTM Japan 京都（2014年3月17日～19日）開催への協力

④ その他

- ・台湾 ITF に絡めた旅行会社・京都事業者協働での商品開発
- ・ニュースレター創刊 接触実績のあるバイヤー・メディアにニュースレターを送信（3月）

(3) 海外観光客向けウェブサイト運営事業

- ① 海外観光客向け観光ウェブサイト「Kyoto Official Travel Guide」の運営（英語、ハングル、簡体字、繁体字、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語）

2013年度は合計3,278,422PV(2014年1月末日現在)
 ※2012年度3,006,834PV

- ② 「Facebook」「Twitter」を活用した情報発信
 Facebookファン数が2014年3月に20万人を突破。
 ※他都市ファン数(2014年5月現在)

(海外)		(国内)	
都市	ファン数	都市	ファン数
NYC	136,177	東京	76,842
ロンドン	310,015	広島	75,657
パリ	277,978	北海道	40,236
ソウル	150,813	大阪	11,049

(4) 新規市場開拓(ムスリム)

国際文化観光都市・京都として、宗教をはじめ様々なバックグラウンドをもつ観光客を受け入れる期待がされる中、イスラーム教信仰の方(ムスリム)については宗教上の習慣(食事、礼拝)に対する対応が不可欠である。そこで観光関連事業者はもとより大学や経済界の協力を得て、いち早くムスリムフレンドリーを打ち出すことができた。事業者のニーズやメディアの関心も高まっていたことから、短期間で大きな成果を得たと考えている。

① 受入事業者向け勉強会(計3回)

主催：京都市、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 後援：京都商工会議所

【第1回】 (定員80名、参加140名)

日時：平成25年7月29日(月)午後6時～8時

場所：京都商工会議所2階 第1～第4教室(希望者多数のため会場を拡大)

講師：同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科長 内藤正典教授

内容：ムスリムの基礎知識

【第2回】 (定員150名、参加160名)

日時：平成25年9月17日(火)午後5時～7時

場所：ホテルグランヴィア京都 源氏の間

内容：先進事例やターゲットから学ぶ

- ・マレーシア商談会の概要報告(京都文化交流コンベンションビューロー)
- ・京都の先進事例紹介(ホテルグランヴィア京都)
- ・UAE旅行事業者のヒアリング内容紹介
- ・京都における認証制度の紹介

【第3回】 (定員150名、参加150名)

日時：平成26年1月29日(水)午後6時～8時

場所：京都商工会議所2階 第1～第4教室

講師：京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
イスラーム地域研究センター長 小杉泰教授 他

内容：実践事例紹介とムスリムからのアドバイス

- ・京都センチュリーホテル
- ・旅行会社によるムスリム向けプラン提案（ムスリム留学生等からアドバイス）
- ・お土産開発プロジェクト



② ムスリム観光客向けウェブサイトの開設

Kyoto Official Travel Guide 内にムスリム観光客向けページ

「Muslim friendly Kyoto」作成（12月26日オープン。12月24日～1月23日での訪問数は6,231、ページビューは17,854）

*言語はアラビア語、英語、マレー語、トルコ語

*宗教法人京都ムスリム協会監修によるレストラン・ホテルリスト

*キブラ（礼拝する方向）の表示

③ 京都のお土産プロジェクト（Kyoto×Hijab）

ムスリム女性にとって欠かせないヒジャブ（頭髪・胸元を隠すスカーフ的な布）に着目し、京都の伝統技術を有する民間事業者との協働で開発・販売（26年1月15日発売）

'Hijab' x Kyoto!



④ UAE メディア・エージェント招請

観光地としての京都の情報にほとんど接していないが、購買力・旅行意欲共に高いUAEのメディア・エージェントを招請し、京都の露出を図った。（エージェント9月17日～20日、5名 メディア9月24日～27日、5名）

■各メディアでの掲載実績

テレビ→4件、新聞記事→11件、海外メディア（WEB、新聞）→6件

※特に反響が大きかったもの、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」、読売テレビ「ten」、JapanTimes など

■京都域内の事業者意欲と今後

具体的な認証へは約10社検討中。

基本的な対応（案内、知識など）は対応もできているため、今後は事業の具体化などに個々へ適宜対応予定。

(5) プロモーションツール等作成事業

KCB 国際観光コンベンション部業務紹介リーフレット（日英）作成

(6) 外国人観光客向け24時間多言語コールセンター運営

宿泊施設、市バス・地下鉄案内所、定期券発売所、駅・市バス営業所の事務所で対応。

2013年4月～2013年12月の利用実績は164件。

※奈良市・大津市でも利用(件数に含まず)

(7) 京都国際観光コンテンツ研究会

海外観光客により満足度の高いサービスを提供することを目的に、伝統工芸等京都の誇るコンテンツに触れる会を原則として月1回開催。今後の旅行商品化やユニークベニユーとしての潜在可能性を京都市内観光事業者と議論・共有を行った。

年度	実施日	訪問先	業種	参加人数
2014年	5月28日	大西清右衛門美術館	茶の湯釜 制作・展示	14名
	6月28日	ギア -GEAR-	舞台・パフォーマンス	11名
	8月8日	横山竹材店	竹問屋	11名
	9月5日	白竹堂	扇子	17名
	10月10日	Ki-Yan Stuzio	壁画、グッズ販売	9名
	12月12日	京都国立博物館	博物館	40名
	1月30日	雲楽窯	京焼・清水焼	12名
	3月6日	太鼓センター	和太鼓演奏、体験、販売	

○主な参加者

外国人客と関わることをメインとする方々：宿泊施設企画・営業担当、コンシェルジュ、旅行会社企画担当、通訳案内士、

Ⅲ その他の事業（公益目的事業）

1 ホームページの運用

ホームページに「What's NEW」のコーナーを設け、当ビューローからの最新情報や関連行事等のタイムリーな情報の提供に努めた。

2 会報誌「京都文化交流コンベンションビューロー通信“響都”」発行

- ア 仕様：A4版、4頁（オールカラー）
- イ 作成部数：800部
- ウ 発行回数：年4回（4月、7月、10月、1月）
- エ 配付先：賛助会員・関係団体 ほか

3 関係団体との連携等

（1）「京都花灯路」・「京の七夕」への参画

関係団体と連携し、「京都花灯路」や「京の七夕」へ主催者団体や実行委員会の一員として参画し、地元京都の観光振興に取り組んだ。

① 嵐山花灯路

平成25年12月14日（土）～23日（月・祝）
来場者数：110万2千人（今回9回目の開催）

② 東山花灯路

平成26年3月14日（金）～23日（日）
来場者数：113万9千人（今回12回目の開催）

③ 京の七夕

平成25年8月3日（土）～12日（月）（今回4回目の開催）
来場者数：74万2千人

（2）時代祭におけるメッセージ発信

「平安建都1300年に向けて」というメッセージを書いた横断幕を持つ行列の先頭役を担った。行進者は賛助会員から募集し、その協力を得た。

IV 共益・収益事業

1 賛助会員制度の運営

(1) 新規勧誘の促進

当ビューローの設立趣旨及び事業等に対する理解者・支援者の拡大を図るため、新たな賛助会員の加入促進に努めた。

ア. 新規加入会員 (21 社 29 口)

会 員 名	口数	区分
料理旅館 吉田山荘	1	誘推協
(株)三井田商事	1	
Exotissimo Travel Japan(株)	2	
日本旅館協会京都府支部	4	誘推協
(株)エースキューブ	1	誘推協
(株)フランストラベルセンター	1	誘推協
(株)Destination Asia Japan	1	
(株)亀田富染工場	1	
ジャパン エキスぺリアンス (ツアーアンバストキョウト)	1	
(株)ハイジ	2	
(株)オリコム	2	
浄敬庵	1	
(株)どこいこ	1	
NINJA KYOTO (株)	1	
(株)京都トラベラーズ・イン	1	
桂甫作 安藤人形店	1	
(株)おめん	1	
京都水族館(オリックス水族館)	3	
ギャグ・ワークス(株)	1	
(株)嵐山辨慶	1	
京料理とお庭の宿 八千代	1	

イ. 退会会員 (13 社 15 口)

会 員 名	口数
(株)アートツーリスト	1
キンシ正宗(株)	1
グランド・リミット(株)	1
国際観光旅館連盟京都府会	2

日本観光旅館連盟京都府支部	2
(株)大澤商店 大澤道具市場	1
ホテルアバンシエル京都	1
ベストウェスタンホテル京都((株)フイーノホテル)	1
(株)京扇堂	1
小川珈琲(株)	1
(株)西陣あさぎ	1
(株)パチ・ホリック京都	1
京料理とお庭の宿 八千代	1

<賛助会員数の推移>

年度別	会員数	口数
平成20年度末	264	384
平成21年度末	257	374
平成22年度末	255	367
平成23年度末	244	356
平成24年度末	289	507
平成25年度末	297	517

(2) 会員に対する情報提供やサービス事業の実施

文化交流発信及びMICE・インバウンド推進に関連する、有効な情報の提供・斡旋・紹介等、また、共同プロモーション事業の実施、各種コンサルティング等会員企業へのサービス事業を実施した。

(3) 「会員の集い」の開催

京都のMICE・インバウンド関連業界の連携を図り、産学公オール京都の力を結集して、MICE及びインバウンドの誘致・誘客・振興の取組がより円滑に実施できるよう、情報交換と会員相互のネットワーク強化を図るため「会員の集い」を開催した。

ア 日 時：平成26年2月3（月）

イ 場 所：京都 東急ホテル

ウ 構 成：

第一部 講演会 午後4時半～午後5時半 2階「雅」

講師：日本政府観光局（JNTO）

独立行政法人 国際観光振興機構 理事長 松山 良一 様

演題：「日本政府観光局のMICE市場への取組と課題、京都に期待すること」

参加者：賛助会員 約150名（定員100名）

第二部 懇親会 午後6時～午後7時半頃 2階「舞・調」

参加者：賛助会員 約220名

2 「京都文化振興友の会」の運営

京都文化振興友の会会員に対して、京都府・京都市・京都商工会議所及び関係団体が主催する催事等に係る情報を提供した。

会員数：141名（平成26年3月末）

3 京都迎賓館記念品の販売

京都迎賓館参観実施等に併せ、参観記念品を販売した。

参観実施時

ア 時期：平成25年8月26日～9月5日

イ 記念品：販売客数：2,986名 売上点数：6,439点

①クリアファイル ②一筆箋（縦書・横書）

③写真はがき ④あぶらとり紙

⑤付箋 ⑥京都迎賓館伝統技能 DVD

⑦ねじり竹箸 ⑧懐紙

⑨がま口 ⑩ブックカバー

⑪コースター

ウ 販売高：4,321,550円

エ 委託販売：「京都迎賓館の冊子」 353冊

V 管 理 運 営

1 理事会の開催

(1) 第5回理事会

- ア 日 時 平成25年6月11日(火)午後1時30分～2時30分
イ 会 場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 理事11名、監事1名
エ 議 事 第1号議案：理事・監事の選任を評議員会に諮る件
第2号議案：平成24年度事業報告に関する件
第3号議案：平成24年度決算に関する件
第4号議案：平成25年度収支予算の補正に関する件
第5号議案：規程の制定に関する件
第6号議案：評議員会の開催に関する件

(2) 第6回理事会

- ア 日 時 平成26年3月4日(火)午前10時～11時
イ 会 場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 理事12名 監事2名
エ 議 事 第1号議案：名誉顧問及び顧問の選任に関する件
第2号議案：平成26年度事業計画に関する件
第3号議案：平成26年度収支予算に関する件
第4号議案：平成25年度収支予算の補正に関する件
第5号議案：「古典の日推進委員会設置要綱」等の改正に関する件
第6号議案：評議員会の開催に関する件



第6回理事会

2 評議員会の開催

(1) 第5回評議員会

- ア 日 時 平成25年6月18日(火) 午前10時～11時
イ 会 場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 評議員9名 専務理事1名 監事1名
エ 議 事 第1号議案：理事・監事の選任に関する件
第2号議案：平成24年度事業報告に関する件

- 第3号議案：平成24年度決算に関する件
第4号議案：平成25年度収支予算の補正に関する件
第5号議案：評議員の選任に関する件

(2) 第6回評議員会

- ア 日時 平成26年3月26日(水)午後3時～3時50分
イ 会場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 評議員8名 専務理事1名 監事2名
エ 議事 第1号議案：平成26年度事業計画に関する件
第2号議案：平成26年度収支予算に関する件
第3号議案：平成25年度収支予算の補正に関する件



第6回評議員会

3 書面審議（理事会等を開催しないで審議したもの）

(1) 理事会

- ① 議案「理事長、副理事長の選定に関する件」を審議するに際し、書面審査により理事・監事全員の同意を得て、議案を承認いただいた。（平成25年6月18日）
- ② 議案「評議員会の開催（書面議決）に関する件」を審議するに際し、書面審査により理事・監事全員の同意を得て、議案を承認いただいた。（平成26年12月12日）

(2) 評議員会

- ① 議案「監事の選任に関する件」を審議するに際し、書面審査により評議員・監事全員の同意を得て、議案を承認いただいた。（平成26年12月20日）

平成25年度事業報告には、定款第8条第1項2号に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

平成26年6月 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー